

安全で安心なまちを目指して
交通安全推進町民大会を開催

4月12日、平成28年度津別町交通安全推進町民大会（主催 津別町交通安全推進委員会）が、町民会館で開催されました。
大会では交通安全憲章唱和などに続いて「第24回交通安全標語コンクール」の入賞作品が紹介され、小学生の部・最優秀賞「その事故が あなたの未来を うばうかも」（津別小学校6年 兼平航志くん）、中学生の部・最優秀賞「安全は 小さな注意の 積み重ね」（津別中学校3年 石井葵良さん）など10作品が表彰されました（※学年は平成28年3月時点）。
また、各団体の代表者が交通事故防止に向けて決意表明を行い、最後に美幌警察署地域交通課長による講話が行われ、参加者は交通安全への気持を新たにしました。



▲交通安全標語コンクール表彰式の様子

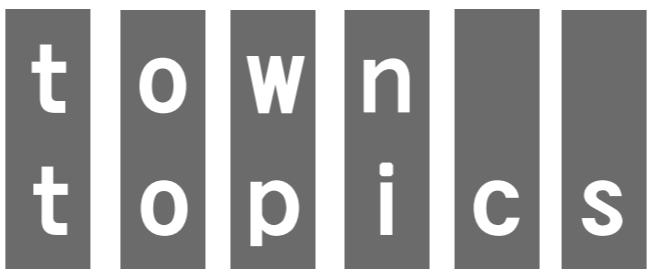
新入学児童の安全を願って
交通安全マスコット、防犯ブザー寄贈

3月25日、町内のボランティアサークル・折りづる会（林洋子代表）から教育委員会に、コロボックルをモチーフにした手づくりのストラップ付交通安全マスコットが寄贈されました。
また、4月4日には津別町防犯協会（中川孝敏会長）から防犯ブザー『ミオマモルちゃん』の寄贈がありました。
子どもたちの通学の安全を願うこれらの品は、津別小学校の新生35人に贈られました。



▲折りづる会の林さん（右）と林前教育長（左）

▶津別町防犯協会・中川会長（中央）と同協会・大江事務局長（右）、宮管教育長（左）



まちのわだい

子どもたちの通学を見守る
ランドセルカバー、交通安全旗を寄贈

4月1日、津別町交通安全協会（柳瀬輝彦会長）から教育委員会に、遠くからでも認識しやすい黄色のランドセルカバーや交通安全ポスターなどが寄贈され、津別小学校の新生1年生にプレゼントされました。
また、4月8日には建設産業交通安全推進網走地方本部美幌支部（野口謙一支部長代理）から交通安全旗80枚の寄贈がありました。黄色地にエゾ鹿のイラストをあしらった旗は、小中学校周辺道路や国道沿いに掲げられ、運転者への注意喚起などに役立てられます。



▲交通安全協会・柳瀬会長（右）と宮管教育長（左）

▶野口支部長代理（右）と宮管教育長（左）

食農教育応援事業

J A つべつが補助教材寄贈

3月24日、J A つべつ（山下邦昭代表理事組合長）から教育委員会に、小学校高学年向けの補助教材「農業とわたしたちのくらし」が寄贈されました。
食農教育応援の一環として、J A バンクが平成20年から取り組んでいる事業で、食や環境等と農業のつながりを勉強し、子どもたちに農業への理解をより深めてもらうことが目的です。
今回寄贈された補助教材は、5年生の授業で活用されます



▶J A つべつ・山下代表理事組合長（右）と林前教育長（左）

地域おこし協力隊員の都丸さんに辞令交付

地域おこし協力隊員として着任した都丸雅子さんに、3月24日、佐藤町長から辞令が交付されました。
群馬県出身の都丸さんは、短大卒業後、営業職などを経験。前職で旅行関連のプロモーション業務を担当したことから、地域活性化事業に興味を持ったそうです。
今後は、道の駅あいおいのマネージャー候補として、施設の運営全般に携わる予定です。



地域おこし協力隊の「思い」を日記

地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと感じたことをつづります。

30 わたしの心ごと



田畑久美子

NEO FOLKプロデューサー。東京新宿生まれ。カナダBC、山梨県生活を経て、ワクワクと不安を胸に北海道生活1年生。

はじめまして。3月から津別町に引っ越ししてまいりました田畑久美子です。

津別町はとてもものどころで、わたしが2年間過ごしたカナダのBC州によく似ています。山梨のお友達と一緒に引っ越しを手伝ってくれました。生活を整える合間に、芽が出たばかりのフキノトウを摘んで、レシビをいろいろ試したり、スーパーに並んだお魚の豊富さに驚いたり、ワカサギ釣りを楽しんだり、とても新鮮な毎日を送っています。

津別町の方には、よく「どうしてこんな田舎にきたの?」と聞かれますが、ここには都会にないものがたくさんあります。わたしの生まれ育った街は、空気も水も汚れていて、灰色のビルがたくさん立ち

並ぶところなんです。遊ぶところといえば、疲れたサラリーマンがベンチで寝ている狭い公園。こどもの頃から体もとても弱かったのです。10年も経てば、まったく様変わりする街は「ふるさと」とはよべず、いつも変わらない風景をもつ「故郷」というものに憧れを抱いていました。

いつも「ここではないどこかへ」という思いがあり、旅にもでてみました。海外にでて初めて「富士山」の写真に涙したときに、わたしは「日本」に望郷の思いを馳せていることに気づきました。

「幸せの青い鳥はいつも足元にある」ということを忘れずに、あいおい生活を始めたと思います。どうぞよろしくお願いたします。